

夢太新聞 2020 6月号



4月下旬から5月末まで、新型コロナウイルスのため休講していた徳島西南支部ですが、6月以降、全道場が再開しました。休講中、道場生、保護者の皆様には何とご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。再開にあたっては、我々の属する組織である新極真会が提示するフルコンタクト空手道場運営ガイドライン(新型コロナウイルス感染症対策)に準じ、かつ、徳島県のコロナ情勢を考慮しコロナ対策における徳島西南支部モデルを情勢に合わせて更新し稽古を行って参ります。現在の主な対策は、下記のとおりなのでご確認ください。また現在、行っている稽古時間、クラス割は6月15日以降、下記の通り再編する予定です(情勢により変更有り)。合わせてご確認ください。

さて緊急事態宣言が全国的に解除され、新型コロナの影響も新たな局面を迎えています。私の浅はかな見識で烏滸がましくはありますが、これまでのコロナ情勢の変遷を振り返るにあたり、日本の感染者数、死者数が世界各国に比べて極めて少ないのは、最前線で働く医療従事者の方々の努力、そして多くの国民が自粛を頑張った努力の賜物であると思います。

最近、教育界では「非認知スキル」という言葉が目まぐるしく使われています。「非認知スキル」とは、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力といった事であり、それに対し認知スキルとは単に表せばIQとなります。これからの社会では認知スキルより、非認知スキルが大切とされていますが、先に書いた「医療従事者の方々の努力、そして多くの国民が自粛を頑張った努力、は、まさに非認知スキルであると思います。

コロナ禍においては、日本人の非認知スキルの高さが現れたように個人的に思いますが、それは5月末、先に再開した私の指導するクラスに参加していた子ども達の稽古中の姿勢を見て確信的に思いました。再開された稽古には制限が加えられましたが、高学年の子ども達は無論のこと、幼年、低学年の子ども達もしっかり制限を守っていました。

コロナは終息した訳ではありません。さらなるコロナへの警戒が必要な今後、非認知スキルもさらに求められます。私は制限を守り稽古に集中する子ども達の目に、今後の社会に大いに適応し、また社会をリードしていく存在になり得る可能性を感じました。今後の少年部指導においては、非認知スキルのさらなる向上を目指していきます。

また今後の社会においては子ども、大人を問わず、個人が健康であることが求められます。休講期間中、私は自身の健康を守るために自主練習を欠かしませんでした。休講期間中、今後の道場運営を考えることも多々ありましたが、それを考えるとき正直不安は大きいものでした。しかし自主練習で体の調子がよく、そのため頭はポジティブに働き「不安はあっても、頑張ろう」という気持ちになりました。「健全な精神は、健康な体に宿る、と言われますが、それは正当を得た言葉である」と実感しました。

コロナ禍において統計上の日本は優秀であっても、実社会では社会的闇が多々浮き彫りになりました。その一つが、人への誹謗・中傷です。医療従事者、コロナ罹患者等への差別は、ネットが媒体となり拡散し、誹謗が中傷を呼び、酷いものがあります。社会の闇は人の心の闇であり、人の心の弱さであると思います。個人的に思うところですが、コロナにおける人への誹謗・中傷は、コロナへの不安から生じるものであり、その不安に自身の心が飲み込まれてしまうことが、人の心の弱さであると思います。人は不安はあっても心が強くあれば、不安を人のせいにしてしりせず、不安を払拭するための自らの道を模索できるものと思います。

現在(5/27)コロナに関係のない誹謗・中傷で、若い命が悲しい結末を迎えた事件が取り沙汰されていますが、ネット社会における人への誹謗・中傷はコロナによるものだけでなく、あらゆる事に端を発して蔓延しています。それはネットを温床とする人の心の闇、人の弱さの蔓延でもありますが、コロナ終息後の社会でも大きな問題になると思います。

今後の社会を住みよくするには、人は心を強くしなければならぬと思います。人の心が強くあるには、先に書いたように頭がポジティブに働くよう、人の体が強くあることが、一つの手段であると思います。西南支部では子ども、大人を問わず、全道場生が心の強さを生み出す、体の強さを練り上げる稽古を行っていきたく思います。

コロナ禍は私の空手観に変化を与えましたが、組手主義を標榜する基軸は変わりません。稽古に再開にあたり、これまでの基軸に新しい空手観を加え指導を頑張っていくと思っています。道場生、保護者の皆様、よろしくお願いいたします。

お知らせ1. 主なコロナ対策

- ・ 体調良好による稽古参加
- ・ 稽古前後の手洗いの励行
- ・ 稽古中の発声の制限
- ・ 共有スペースの消毒
- ・ 飛沫感染予防による対人稽古
- ・ 人との距離を保てるスペースの確保
- ・ 道場内でのマスクの着用(稽古時は呼吸への負担を考慮し着用義務はありません)

お知らせ2. 6/15以降の稽古時間、クラスの再変 ※稽古参加は一人1クラスでお願いいたします。

<美馬道場> 月曜・木曜、同じ 19時～20時(小学3年生以下) 20時15分～21時15分(小学4年生以上)

<鴨島道場>

水曜日 17時45分～18時45分(小学生以下) 19時～20時(小学生以下) 20時15分～21時15分(中学生以上、小学5・6年生可)

※小学生以下のクラスはいずれかに参加

土曜日 15時45分～16時45分(選手クラス、小学4年生以下) 17時～18時(小学生以下)

18時15分～19時15分(選手クラス、小学5年生以上) 19時30分～20時30分(中学生以上、小学5・6年生可)

<徳島市加茂道場> 火曜・金曜、同じ 18時30分～19時30分(小学生以下) 19時45分～20時45分(中学生以上、小学5・6年生可)

<阿南道場> 水曜日 19時～20時(合同クラス) 土曜日 18時～18時40分(合同クラス) 19時～19時40分(合同クラス) ※合同クラスはいずれかに参加

<阿南東道場> 木曜・土曜、同じ 18時15分～19時15分(小学3年生以下) 19時30分～20時30分(小学4年生以上)

<三加茂道場> 水曜・金曜、同じ 19時30分～20時30分(合同クラス)

<池田道場> 土曜のみ 19時30分～20時30分(合同クラス)

お知らせ3. 春季審査会

延期していました上記審査会を下記の要項で実施します。受審希望の方は各道場、指導員まで申し出て下さい。

とき…6/28(日) 場所…鴨島東中学校 受審料…1人8,000円 申込締切日…6/20(出)

※審査申込書と受審料は同時に指導員まで提出してください。

今回はコロナ対策として下記のグループで時間別に審査を行います。

現在、白帯・オレンジ帯グループ 9時～9時50分 現在、青帯・黄色帯グループ 10時～10時50分

現在、緑帯・茶帯グループ 11時～11時50分